

# SABO NEWS LETTER

第 158 号【発行日】令和 5（2023）年 7 月 24 日(月)【発行】(一社)全国治水砂防協会

## 目 次

1. 目 次 . . . . . 1
2. 前国土交通省砂防部長より退任のご挨拶 . . . . . 2
3. 新国土交通省砂防部長より就任のご挨拶 . . . . . 3
4. (一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶 . . . . . 4

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

一般社団法人 全国治水砂防協会

住所：〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

電話：03-3261-8386 FAX：03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください。

<http://www.sabo.or.jp/>

## 前国土交通省砂防部長より退任のご挨拶

会員みなさま

東京では梅雨空が続き、蒸し暑い毎日が続いております。梅雨明けの待ち遠しい今日この頃です。

このたび、7月4日付で砂防部長を退任しました。この2年間、みなさまから力強いご支援を頂きながら砂防部長を務めさせていただきました。みなさまから頂きました数々の厚情に心より感謝申し上げます

各地で行っていただいた土砂災害防止への取り組み、あちこちにご足労をおかけした提案・要望活動など、みなさまのお力添えのもと着実な砂防行政の推進につなげることができました。本当にありがとうございました。

気候変動の影響もあり、近年、土砂災害は増加傾向にあります。一方で、先人が整備してきた砂防関係施設や警戒避難体制強化の取り組みが確実に成果を上げ、「いのち」や「くらし」が土砂災害から守られた事例が確実に増えてきております。これからも防災・減災、国土強靱化の代表施策である砂防関係事業がしっかりと推進されることを期待してやみません。

今後は、後任の草野砂防部長のリーダーシップによる砂防施策推進となります。みなさまの引き続きのご支援をよろしく申し上げます。

末筆ながら、みなさまの益々のご健勝と、地域のさらなる発展を心よりご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年7月

三上幸三

## 新国土交通省砂防部長より就任のご挨拶

会員のみなさま

今年も7月に入り気温が高い日々が続く中で、梅雨前線の影響により九州地方や中国地方を中心に非常に強い雨が降り続いており、既に土砂災害によりお亡くなりになった方もいます。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

この度7月4日付で砂防部長を拝命いたしました草野と申します。令和3年度は国交省砂防部で砂防計画課長をさせて頂いておりましたが、令和4年度は大臣官房審議官(防災・リスクコミュニケーション担当)という職責に異動となり、直接的な土砂災害対策から離れていた中で、若干ではありますが国際関係の業務も担当させて頂きました。

近年は、日本国内でも気候変動の影響により、豪雨に伴う災害の広域化、激甚化が指摘されていますが国際的にも同様の傾向が見られます。例えば令和2年7月に発生したバングラデシュの水害では、国土の1/3が水没するという想像を絶する大被害が発生しています。このような社会情勢の中で、今年の3月にニューヨークの国際連合本部で「国連水会議」が開催されました。国連が水にテーマを絞って行う会議としては実に46年ぶりの会議であり、私もその一部に参加させて頂く機会を得ました。

その中で、世界の大きな潮流の一つが「グリーン(緑)」の活用でした。緑は気候変動の原因となる二酸化炭素を吸収すると同時に、鉄やコンクリート程ではないものの一定の強度を有することから、遊水池などのインフラ整備にあたって積極的に緑を活用すべきだという方向性が示されました。

日本の砂防事業の歴史を紐解けば、庶民の日々の燃料が薪や炭であった時代に全国的に広がってしまったはげ山に対して、山腹工という一種の植樹対策を行うところからスタートしており、砂防事業と緑はもともと非常に親和性が高いと言えます。砂防関係事業の目的が「いのち」と「くらし」を守る事である事は、当然ながら何ら変わるところはありませんが、その実施にあたって緑の良さも取り入れつつ事業の推進が出来れば良いと考えております。

今年の出水期はまだまだ先は長く台風期も含めて気が抜けない時期が続きますが、今一度防災への備えを確認しつつ、皆様方と力を合わせて土砂災害対策を推進して参りたいと考えております。これまでの三上前砂防部長の時代とかわりなく、引き続きのご支援の程、よろしく願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝と地域のさらなる発展を心よりご祈念申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

令和5年7月

国土交通省砂防部長 草野慎一

## (一社)全国治水砂防協会理事長 挨拶

会員の皆様へ

東京では連日の猛暑が続いております。今年の梅雨は豪雨が各地で相次ぎ、九州地方や東北地方など広い範囲で多くの被害が生じております。お亡くなりになられた方に哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて、このような状況の中、6月14日に成立しました改正国土強靱化基本法に基づく、新たな「国土強靱化基本計画」が策定されようとしております。その内容の充実が望まれます。また、ここ数年、防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策や5カ年加速化対策により、毎年ある程度の予算規模が確保でき、事業推進が計画的に行われてきました。現在の5カ年加速化対策に続く、中期計画の策定も行われる事になっており、これも改正国土強靱化法に基づく計画となりました。事業計画に中長期的見通しが立つことは効率的、効果的な事業実施につながりますし、事業を受注する建設業界の経営にとっても意味のあることだと思っております。事業の担い手不足解消にも寄与することとなります。問題はその計画の期間と規模です。できるだけ長い期間とできるだけ大きな予算を確保したいものです。これから多くの議論が行われることになり、国土強靱化を確実に軌道に乗せていく重要な時期となります。砂防事業予算の獲得へ向けて皆様方のお力添えを是非ともお願い申し上げます。

7月4日付けで国土交通省の砂防部長に官房審議官 草野慎一様が着任されました。これからのご活躍をお祈りしたいと思います。また、勇退された前砂防部長の三上幸三様には心から感謝申し上げます。2年間激務をこなされ、お疲れ様でございました。

これから暑い季節を迎えます。困ったことに、5類に分類された新型コロナ感染症も徐々に広がってきているようです。皆様におかれましてはどうか息災にお過ごしくださいますように。

令和5年7月24日  
一般社団法人 全国治水砂防協会  
理事長 大野 宏之